



検査結果の見方（心電図）

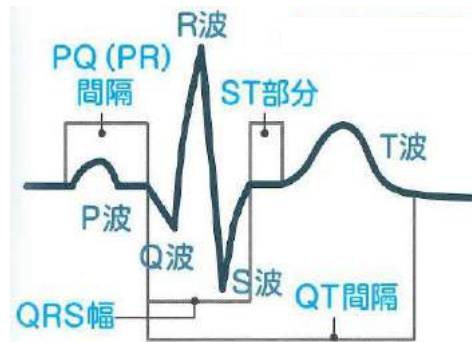
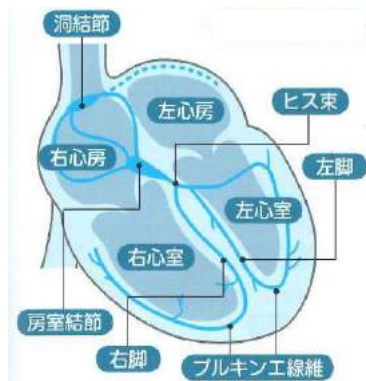
▼心電図・心拍数

手首、足首、胸に電極を付け、心臓が収縮を繰り返すときに発する電気刺激を、波形として記録する検査。同時に心拍数の測定も行う。

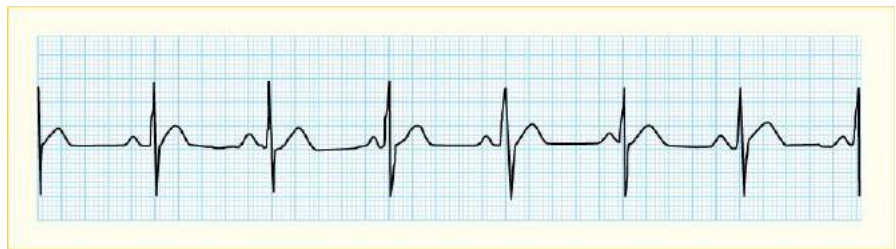
●基準値 心電図：異常なし 心拍数：50～85回/分

●この検査で疑われる病気

- ・ 心臓のリズムが一定にならない：不整脈
- ・ 心臓のまわりの血管がつまったり、細くなったりして起こる：虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）など



★ 基本の波形 ★



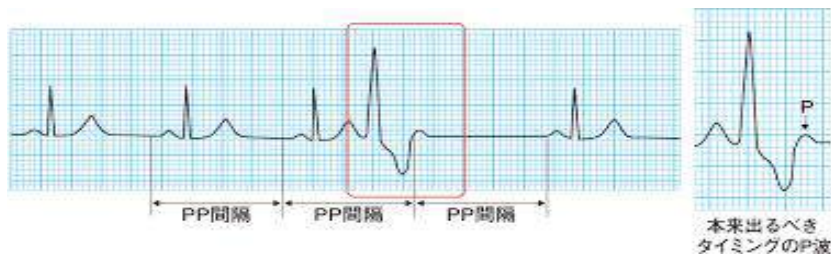
期外収縮

＜心室性期外収縮、上室性期外収縮、

異所性期外収縮（単発性、多発性、二段脈）＞

心臓は、洞結節といわれる場所から刺激が全体に伝わる。この洞結節以外からの刺激が始まった場合を期外収縮という。自覚症状がなければ、基本的には放置可能。

多発する場合や自覚症状があれば精密検査が必要である。





洞性不整脈

洞結節よりの刺激が、呼吸などの影響により脈が不規則になる状態。
基本的には、放置可能。



洞性除脈

洞結節よりの刺激が少なくなる状態。 基礎疾患や自覚症状があれば、
治療が必要である。 基本的には、放置可能。



洞性頻脈

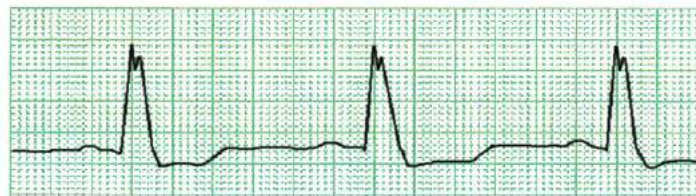
洞結節よりの刺激が多くなる状態。 基礎疾患や自覚症状があれば、
治療が必要である。 基本的には、放置可能。



脚ブロック

<不完全右脚ブロック、不完全左脚ブロック、完全右脚ブロック、
完全左脚ブロック、右脚ブロック、左脚ブロック、左脚前枝ブロック、
左脚後枝ブロック> など

心臓を収縮させるための刺激が伝わる経路で左あるいは右への伝導障害。
基本的には、病的な意義が少ない場合が多い。
左脚ブロックは、心筋障害を合併する場合がある。

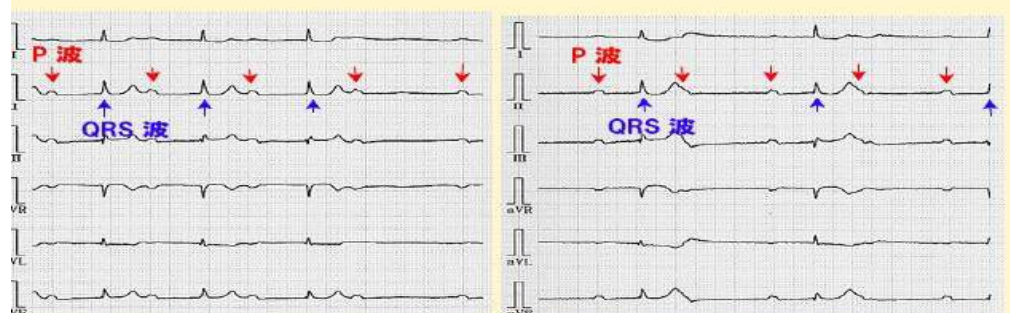


房室ブロック

心房から心室への伝導の遅延状態。 程度によりⅠ～Ⅲ度に分類される。
Ⅱ・Ⅲ度以上の場合、治療の対象になる場合がある。

- Ⅰ度房室ブロック : 刺激が遅れる
- Ⅱ度房室ブロック : 刺激が時々途絶える Wenckebach型・Mobitz Ⅱ型
- Ⅲ度房室ブロック : 刺激が完全に途絶える

完全房室ブロック（第3度ブロック）



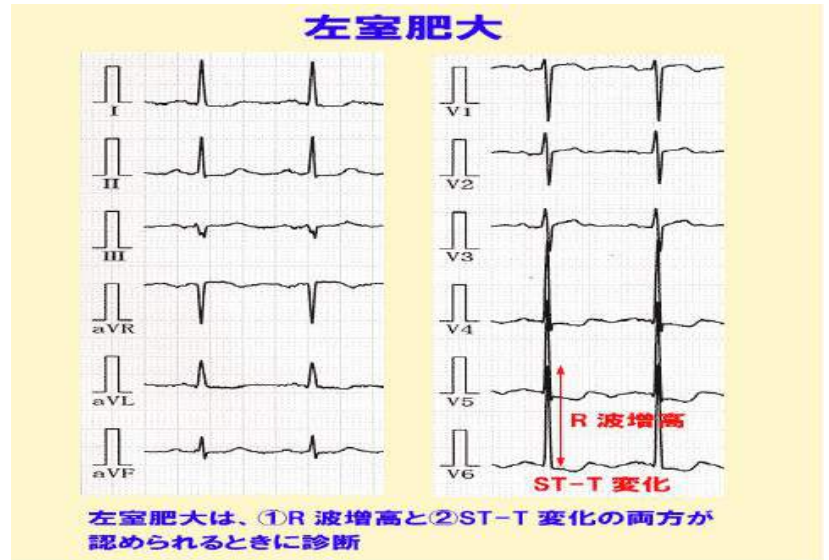
完全房室ブロックでは、P波とQRS波が別々のリズムで無関係に出現する



左室肥大

心臓の筋肉の肥厚、左心室の容積の拡大によっておこる変化。

原疾患として、高血圧や弁膜症などがある。



軸偏位

心臓を収縮させるための刺激の方向の変化を示す。病的な変化でない場合が多い。

左軸偏位 $< -30^\circ$

右軸偏位 $> +110^\circ$



T波異常

心筋に障害がおこり、負荷がかかっている可能性がある。健常人でも認める場合があるので、自覚症状などで総合的に判断する必要がある。

T波増高 : 正常範囲、虚血性変化、高カリウム血症

陰性T波 : 心虚血性変化後、心室内伝導障害、心室肥大



心房細動

加齢に伴い増加。無症候性の発作が多い。持続時間により発作性・持続性・長期持続性・永続性。一種の心臓痙攣で血栓が出来やすくなる。

専門医受診し、治療が必要。

心房細動



WPW症候群

本来の伝導と違う副伝導路が存在し、興奮が副伝導路を通ることによってみられる変化。

A型:左心系に副伝導路が存在

B型:右心系に副伝導路が存在

器質的心疾患のない先天性異常が多い。

よって、無症候性であれば治療の必要がない。

♥ ブルガダ症候群

主に夜間睡眠中や安静時に心室細動を生じ突然死の原因となる。
若年から中年の男性に多い。（男女比10：1）

♥ 心房粗動

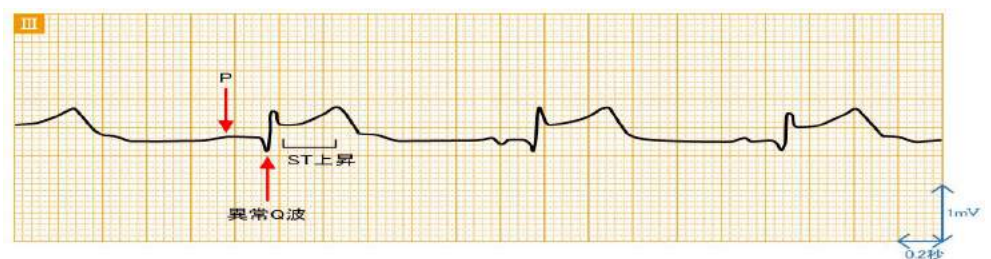
規則正しのごぎり状の心房波を認める。

♥ 異常Q波

生理学的・位置関係による変化 : 病的意義はない
心室肥大による変化 : 左室肥大
心室内伝導障害による変化 : WPW症候群
心筋障害 : 心筋梗塞・急性心筋炎・心筋症

♥ ST変化

ST上昇 : 急性心筋梗塞や狭心症で心筋虚血に面した誘導で認める。
その他、左室肥大・急性心膜炎・劇症型心筋炎・ブルガダ症候群。
ST低下 : 心内膜下虚血により生じる。
心室内伝導障害・心室肥大。



♥ 心筋障害

器質的疾患が除外されたもの。

生命予後に関係がないが、心血管リスクが高まる可能性がある。

心電図上、非特異的ST-T変化



精密検査を勧められた場合には、
・ホルター心電図（24時間心電図検査）
・心臓超音波検査
・負荷心電図
等を実施してより詳しい検査をします。

**精密検査を受けて
早期発見・早期治療をしましょう！**

